

令和3年度 課の運営方針書

消防本部 警防課

1 課の運営方針

【課の使命】

消防力の三つの柱「水利・施設・人員」の一体的な整備に取り組み、頻発する大規模自然災害等に即応できる体制を構築します。さらに消防団をはじめ危機管理機関等との連携を強化し市民の安心・安全の確保を図ります。新型コロナウイルス等の感染症については、医療機関等と連携を密にし適切な予防策を講じ救急搬送体制の機能維持、強化に努めます。

【課の目標】

①救急業務の質の向上

指導救命士を中心とした救急隊員の指導・教育体制の充実を図り救急業務の質の向上に努めます。感染症に対する隊員の感染予防を徹底し、救急搬送体制の機能維持、強化を図ります。

②危機管理機関等との連携強化

大規模自然災害等、有事の際に連携が不可欠である消防団及び危機管理機関と実践的な訓練等を通じて連携を強化するとともに、消防受援体制の確立及び緊急消防援助隊の迅速かつ適切な運用を図ります。

③消防水利の整備保全

消防水利施設(消火栓・防火水槽等)の計画的な整備及び維持保全に努めます。

④コンビナート事業所等との連携強化

大規模災害等、有事の際に不可欠な消防力の確保のため、コンビナート事業所への技術指導を通じスキルアップを図るとともに連携強化に努めます。

【働き方改革による業務改善等の取組み】

働きやすい職場環境の整備や課内における業務の相互補完を行うことでWLBを推進し、休暇の取得や時間外勤務の低減を目指します。

2 担当(係)の使命(果たす役割)

(警防企画担当)

防災関係機関及びコンビナート事業所と協調し訓練等を企画し、有事を想定した実践的な訓練を行い連携強化を図ります。継続的な消防水利の整備保全に努めます。

(救急救助担当)

救急隊員及び救助隊員の知識・技能の向上に必要な教育訓練等を企画し年間を通じて救急・救助業務の質の向上に努めます。救急業務に不可欠なメディカルコントロール体制及び救急搬送受入医療機関等との連携を密にし、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底します。応急手当の重要性について講習会等で普及啓発に努めます。

3 課の経営資源

(1) 課の体制

職員数	8人	うち	正職員	8人	・	会計年度 任用職員	0人	人件費	正職員	58,088千円	会計年度 任用職員	0千円
-----	----	----	-----	----	---	--------------	----	-----	-----	----------	--------------	-----

※R1職員平均給与(7,261千円)ベース

※予算計上額

(2) 事業規模

歳入予算額	51,400千円	歳出予算額	72,192千円	(正職員人件費を除く)	担当予算事業数	3事業
-------	----------	-------	----------	-------------	---------	-----

4 課の中期目標（優先順） 第2次周南市まちづくり総合計画・後期基本計画に掲げられた基本施策を実現するための推進施策

目標	推進施策	実現したい成果（最終目標）
1	<ul style="list-style-type: none"> 4 安心安全 2 消防・救急体制の充実 2 救急救助業務の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○救急業務の質の向上を図るため救急救命士・指導救命士の養成や気管挿管認定の取得を進めます。 ○メディカルコントロール体制を強化するとともに、医師の指導・教育の場を確保し救急業務高度化を推進します。 ○救急・救助隊員の知識・技能の向上に必要な教育訓練等を企画し人材育成に努めます。 ○応急手当の重要性について救命講習会等を通じて市民へ普及啓発に努めます。 ※メディカルコントロールとは 救急救命士等に対して医師が直接、指示・助言を行うこと。
2	<ul style="list-style-type: none"> 4 安心安全 2 消防・救急体制の充実 1 消防力の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○消火栓や防火水槽などの消防水利の整備・維持に努めます。 ○コンビナート事業所の自衛消防組織と連携を図り有事の際の消防力確保に努めます。 ○消防団及び危機管理機関と実践的な訓練等を行い連携強化に努めます。